

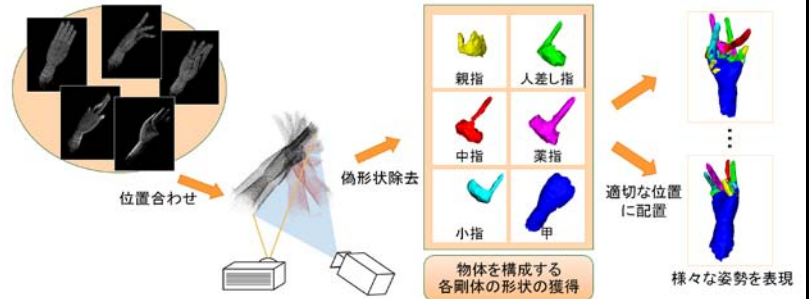
タイトル

形状計測による複数姿勢を表現可能な手モデルの獲得

Shape modeling of hand making various postures from range scans

概要

本研究は、カメラを用いて人間の手を計測し、さまざまな姿勢をとることができる3次元モデルの構築を目的とする。手を複数の剛体から構成されている物体とみなし、計測により各剛体の形状モデルを獲得する。これらを適切に配置することで、さまざまな姿勢での形状を表現する。さまざまな姿勢で手全体の形状を計測し、計測データの中から同一剛体に属するとみなせるものを抽出することで、各剛体の形状モデルを構築する手法を提案した。



URL

産業界への展開例・適用分野

本手法は手の構造に特化した手法ではないため、動物など、姿勢を変えうる物体全般にも拡張可能であると考えられる。実物体をカメラで観測してモデルを構築しているため、人手で作成するCGに比べ、少ない労力でリアリティの高いモデルを獲得することができる。映画やゲーム等、3DCGを活用する分野に展開可能であり、これから益々重要な技術になると考えている。

研究者

	氏名	専攻	研究室	役職(学年)
展示担当者	阿久澤 陽菜	知能情報学	美濃研究室	修士1年
	船富 卓哉	学術情報 メディアセン ター	美濃研究室	助教